

地域住宅生産者グループ

福島優良住宅建設協会

065

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
幸福家	福島県全域

グループの特徴とメッセージ

福島優良住宅建設協会は、会員が連携協力し技術・技能の向上、労働安全の推進に勤めています。優良住宅建設推進を通し、住宅資産向上を図ることにより、社会貢献に寄与することを目的とする、福島県で長年信頼を得てきた工務店の集まりです。当協会は、ほぼ県内全域に会員がいます。被災者の心情、地域の風土や特性を理解している地元の工務店が中心となり、会員が広域に連携して復興住宅を建設することが可能です。

グループの基本情報

グループ名称	福島優良住宅建設協会
所在地	福島県会津若松市滝沢町 2-43
結成年月	1996年4月
グループ形態	任意団体
主たる業態	施工
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計 40 社 原木供給 : 2 社 製材 : 2 社 建材流通 : 4 社 プレカット : 3 社 設計 : 10 社 施工 : 15 社 その他 : 4 社
代表者名	廣瀬 茂(有限会社廣創建設 工業代表取締役社長)H26.4~
主な受賞歴・ 活動内容等	・情報交換セミナー開催(年12回) ・「ふくしまの家」復興住宅供給システムプロポーザルで、広報対象団体に選定

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,380万円~
価格の基準面積	132.48 m ²
価格に含まない 項目	屋外工事費、外構工事費、 設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。
詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績(年間)

建設戸数* (木造戸建)	157 戸
うち地域材活用の住宅	100 戸
うち長期優良住宅	75 戸
グループとしての 施工実績	なし 戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	150 戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	会員による 200 棟 の仮設住宅の建設

※参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	北澤 秀智	メール	kitazawa@fukoku-net.co.jp
電話番号	024-922-9002	F A X	024-932-3210
ホームページ			
自由記入欄			

地域型復興住宅のイメージと特徴

■将来性を考えた可変性の高い設計

・小さな子供のいる世帯であれば1階だけで生活ができるように考えました。2階を未完成の状態にすることで、建設費をおさえています。増築しないで様々な家族構成に対応できるようにしました。

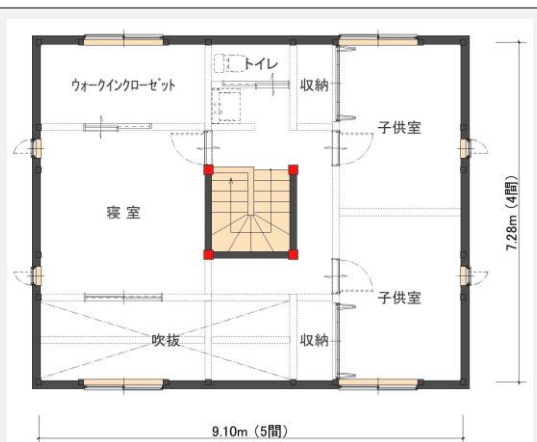
■十分な生活環境をローコストで提供するシステム

・建物を中央にある4本の通し大黒柱で支えることにより、耐震性を十分に補いながら間取りを自由に変えられます。これにより、梁等の高さを規格化できる為、木材のストックを可能にし、工期短縮につながりスピードと安定供給が必要な復興住宅の基本コンセプトとしています。



1階 (20.0 坪)

各種プランを豊富にご用意しております。



2階【利用例】 (20.0 坪)

4間×5間と十分なスペース。

代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：66.24 m ² 2階：66.24 m ²
設計	菅野哲司建築設計事務所	施工	福島優良住宅建設協会会員工務店
施工費	1,380 万円 (設計費用は除く)	備考	2階の居室施工及び屋外給排水、地盤調査、外構、登記費用等は別途となります。

設計方法や地域材活用に関する特徴

■街並みにとけ込む和風の外観、深い軒の縁側から地域のコミュニティがはじまる

- ・ 県内森林組合や材木店と協力して杉材を供給し、構造から仕上げまで木材をふんだんに使用します。
- ・ 深い軒の縁側をつくり、茶飲み場として近所との交流の場に活用することで、災害に負けない地域の強い絆をつくることを提案します。

主に活用している地域材について

地域材の名称	田村杉、八溝杉
樹種	杉
産地	福島県田村市・栃木・茨城
認証制度等	—
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では安全な福島県産材を活用した住宅を供給します。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■心情を共感する地元工務店だから第一に考えた「災害に強い家」

- ・ もしもの時に必要となる装備を標準仕様にし、災害に強い家になりました。雨水利用システムは、節水だけでなく、最も困ったトイレにも使用出来ます。太陽光で非常用の電源を確保、ペレットストーブならガソリンスタンドに並ぶ心配もありません。
- ・ 長期優良住宅の認定取得、住宅情報履歴の整備、瑕疵保険へ加入をします。また、耐震性能を強化し、最高等級の耐震等級3を取得することで、安心して生活していただけるようにします。福島の冬を暖かく暮らすために高気密・高断熱を標準仕様とします。

●災害にも節水にも「雨水利用システム」



雨水の利用により、日常的にトイレ用に使用し節水効果があります。また、車の洗車や庭の散水にも利用できます。

震災後、一番困った事はトイレです。トイレは長蛇の列ができ、大変困りました。

●環境にやさしい暖房「ペレットストーブ」



福島県が、県産間伐材等の有効利用を図ることで、森林整備を促進するため利用推進事業を行っている環境循環型暖房ペレットストーブ。

●もちろん「長期優良住宅」の基準をクリア



耐震等級3の長持ち躯体
省エネ性は？
劣化対策は？
管理の容易性は？
内装設備は
耐久性に劣る
劣化対策等級3

●「太陽光発電システム」2.2kW標準搭載



太陽光を利用して家庭で消費する電気をつくり、余った電気は電力会社へ売電。災害時にも発電した電力を非常用電源として使用します。

●高い断熱効果で光熱費を削減「Low-E 遮断ガラス」



有害な紫外線を84%もカット。お肌の健康とカーテンの日焼けを防ぎます。また、真夏の太陽の強烈な日射熱も60%カットします。冬は高い断熱効果で室内の暖かさを逃がしません。

福島の冬を暖かく暮らすための高気密・高断熱

幸福家「標準仕様」

地域住宅生産者グループ 福島優良住宅建設協会

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

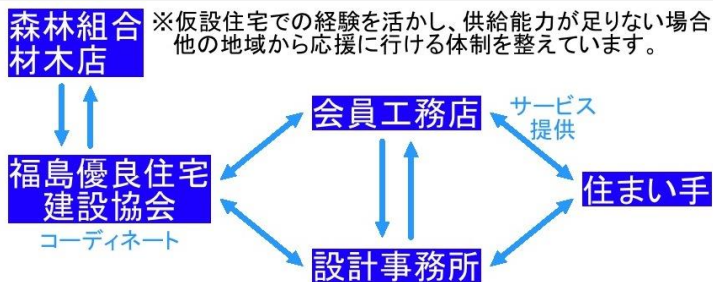
■地域材による合理的高効率施工

- ・ 木材の放射能検査を実施し十分に考慮したものを使用します。
- ・ 材料寸法の規格化・接合方法の標準化をすることで、乾燥材のストックを可能にし、安定供給、品質の向上、工期短縮、コストダウンを可能にします。ペレットストーブを設置し、間伐材等を有効利用します。



【木材の放射能検査を実施】

■福島優良住宅建設協会の流通ネットワーク体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■安心の家づくり

- ・ ファイナンシャルプランナー、ローンアドバイザー等による資金計画に関する相談会を開催します。各種手続き資金計画の相談を直接お客様のところに向向いて納得していただけるまで行います。

■永く住み継がれる家

- ・ 地震時や台風時の後、当該点検の時期にかかわらず臨時点検を行うなど、お客様の大切な家をしっかりメンテナンス。当協会により1年間の無償メンテナンスを行います。また、住宅履歴情報の管理システムを活用して、住宅履歴情報を長期にわたり保管し、点検・補修・リフォーム等に役立てます。

①資金計画等の相談会を開催

②相談員の派遣



住宅履歴情報

